第2回太良町国民保護協議会 会議録

1 日時 平成18年11月24日(金) 13:30~15:10

2 場所 太良町役場 庁舎2階大会議室

3 出席者

【協議会会長】 百武 豊

【協議会委員】 18名 代理出席含む

金子建二(代理)、増田公明、元村直実(代理)、井原寿行(代理)、森田昭(代理)、家永武義(代理)、木下慶猛、姉川隆利、毎原哲也、小竹善光(代理)、永淵孝幸、川島安人(代理)、土井秀文、新宮善一郎、秀島勝之、大岡清朗、今泉信生(代理)、恵崎敬一郎、陣内碩泰(欠席)、竹島好道(欠席)

【事務局】 3名

岡靖則(総務課長)、峰下徹(総務課防災係長)、山口武徳(総務課防災係)

4 会議内容

(1) 開会

委嘱状交付及び委員紹介

事務局(峰下)

本日は、公私ともご多忙のなか、太良町国民保護協議会にご参会を賜り、誠にありがとうございます。

本題に入ります前に、新たに、委員として指定地方行政機関 三池海上保安部長 松田康夫様、本日は代理人金子建二様に委嘱状の交付を会長の 百武太良町長 から行います。

委嘱状交付

(2) 会長の挨拶

会長(百武太良町長) 挨拶

会議録の署名人を秀島委員・恵崎委員を選任。

(3) 協議事項

事務局(岡)

恐縮ですが着席をさせて頂き、ご説明申し上げますので、どうぞよろしく願致します。

まず、始に、三池海上保安部よりご意見をいただいておりますので、対応した結果についてご報告を申し上げます。また、計画案に一部修正がありますので併せて申し上げます。

資料により修正箇所を説明。

1. 太良町国民保護計画について

それでは、太良町国民保護計画(案)について、ご説明を申し上げます。

細かく説明するには、時間が足りませんので、要点だけを説明させていただきます。

国民保護計画(案)により内容説明

以上で、簡単ですが説明を終わらせて戴きます。

会長

只今の説明について、ご気づきの点やご提案はありませんか。

恵崎委員

この計画案というのは、県あるいは国からの指示なのか、または、雛形があって作られたのですか。

太良町の場合、想定される事態というのはどのようながありますか。その辺はどのように考えられていますか。

会長

私の言葉があてはまるかわかりませんが、敵陣上陸とかテロがあった場合は、唐津方面とか主要な所は、早くから対応をさせていただいております。

ただ閉鎖的な有明海。島原の湾口から入ってくると中は広がっているので、ターゲットにされやすいのではないかと心配しております。

この案を見ますと、町はとか、町長はとかたくさんありますが、本当に緊急時に県に報告したからいいとか、警察に報告したからいいとか自衛隊にしたからとかで安心はできない。住民を安全な場所に早く避難させることが町としての立場だと考えます。実際このようなことが起きたら大変だと危機感を感じております。

ただ、火災とか災害とかは、今までどおり地元消防や警察、ひどいときは陸上自衛隊方々等々に、海の問題のときは、海上自衛隊にお願いし、実際平成3年には有明海で20名程亡くなっていますが、そのような事態のときはお願いしなければいけないと。町だけでは意思の疎通が住民にうまくいくか、そのことを念頭に置いて、後はお願いするしかないと思っております。

報告、お願いをいち早くやって、どのような危機管理体制をやるのか。間違わないようにやるのが町の姿勢ではないかと思っております。

他にございませんか

元村委員

二点確認させてください。防災行政無線の整備状況を確認させていただきたいのですが。

事務局（峰下）

平成15年度にデジタル化ということで、九州で初めてという同報系無線を整備しております。町内全域各戸に連絡は行くと思いますが、子局、隔世区局が37局、個別受信機が312台。

このような整備を行っています。個別受信機については難聴地区で、子局で入らないところを個別受信機でカバーしております。

元村委員

各戸に同時に伝達できるような体制は全体的に整っているということですね。

事務局（峰下）

はい。

元村委員

今、国の方でJ-ALERTという計画が進んでいまして、消防庁の操作卓のボタンを押せば瞬時にこちらの同報系無線の操作盤に入り、衛星を通じてですが自動的に同報系無線を立ち上げ各戸に瞬時に連絡するというシステムです。

弾道ミサイルが飛んでくるというのはなかなか想定しにくいことではありますが、その他の情報として、津波警報とか緊急地震速報などに活用するという事で、消防庁も整備を進めていますので、県内では数少ない整備が進んでいる所ですので、是非J-ALERTという新しいシステムを導入していただきたい。

国の方では操作盤などを少し改造しなければいけないらしく、整備費用が200万から300万程かかるという話ですが、是非ご検討いただければと思います。

事務局（峰下）

その点につきましては、県の方と連絡を取り19年度か20年度に整備をしてくださいという連絡がありまして、町としては20年度にJ-ALERTの整備をしようかなと思っております。

というのは、19年度ですれば、佐賀県内でも防災行政無線の整備が全国的にも遅れているということで、整備をしているところが予算をつけてするというのも、基本的には率先してやるべきところではありますが、国の補助関係等を県の方へ意見として出しており、まだ金額的にも把握できず、補助金についても国の方に問い合わせてくださいということなので、20年度に整備を計画しております。

气象台の方からも地震の予知がかなり早めに行えるし、突発的な地震については若干遅れるかもしれませんが、それについてもJ-ALERTで通報したいというお願いがっておりますので、その分と一緒に検討しております。

事務局（岡）

今の件については、保護法の38ページの真ん中あたりに全国瞬時警報システムを用いた場合の対応ということで、若干ですが別記はしております。このようなシステムができかけているということですので。

会長

他にございませんか。

姉川委員

用語のことですが、50ページと51ページに退避という言葉がありますが、避難と退避はどう違うのですか。これを見てみますと、その場所から移動する場合に退避という言葉を使っておりますので、どう違うのかなと思っております。

また、50ページの退避の指示、マークのところは間違っていると思いますが。

事務局（岡）

そうですね。同じ文章が続けて入っていますので、一つは削除をお願いします。

元村委員

避難と退避の違いについては私の方から説明します。基本的には国民保護法というのは、国の指示を受け都道府県を通じて国民に指示するというスタイルになっていまして、国が避難措置の指示という形を出した場合、避難をしなければならない。それは屋内避難にしても避難ですが、その場合は県を通じて避難を指示します。このように指示系統にのっとってした場合、避難という定義付けをしております。

退避というのは、何か発生したというときに、町長さんの権限でそこには近寄るなどが、危ないから緊急に屋内に入りなさいというようなことが、退避という言葉で使い分けしております。

概念は少し違います。

会長

避難と退避は今の説明によりますと、町長の判断と、県等々が入った二通りあるようです。
よろしいですか。

姉川委員

町長が、国の指示を受けて避難の指示をするという場合、長くなるときには荷物などを持参する
ときがあると思うが、そういう時は荷物はだめですか、何個までですかあるんですか。

元村委員

そこら辺は難しい話ですが、基本的に自分の家を捨てて逃げていくということはあまり考えられ
なくて、例えば弾道ミサイルの攻撃があったときに、屋内に避難してくださいという指示が真
っ先に来るものと思っております。イスラエルがイラクから弾道ミサイルの攻撃を受けたとき
にも、全国民が家の中心に集まりなさいという避難指示が出て、要するに外に出たら危ないし、破
片がぶつかってくるかもしれない。

基本的にはあたってところはごめんなさいという世界なんです。こんなことをいってはいけま
せんが。

外に出るより中に入った方が安全だということで、例えば、ゲリラが来たとか、弾道ミサイル
が来たというときは屋内に避難というのが基本的な流れという考えで、しかし、着上陸侵攻とか
大規模な攻撃になってくると、あらかじめなんらかの攻撃があっていて、最終的に大規模な侵攻
というのが着上陸侵攻ですが、それは1ヶ月、2ヶ月くらい前から充分予測ができる状態になっ
て、そういう時は昔のような疎開的な避難が出てくると思います。

姉川委員

避難の指示というのは命令ではないのですか。協力を得るとのことですか。地域住民の方か
らの協力を得るとのことですか。

元村委員

命令ではないです。指示です。

姉川委員

わかりました。

会長

指示をしていうことを聞かなかった所に災害が起きて、犠牲になった人はあります。絶対的な
命令で無い限りは。

他にありませんか。

井原委員

このような事態になったときに、交通の確保が重要になってくると思います。

救急車が通ったり、自衛隊が通ったり。そういった場合の交通確保はどのようになっています
か。

けが人の搬送とか、207号を通っている車を遮断したりもしなければいけないという気もしま
すが。

会長

そういうときの為に、太良町の場合は広域農道があり、災害ばかりではなく、冠婚葬祭や火災の時など消防自動車などを駐車するところが無いからこれからは、町道を7m以上にしようというような政策をしております。中山間地域では、辺地対策事業を使って町道並にし、207号が通れないような場合はそういう所を生かしていくことを考えないと交通体系はできないなあと思っております。

また、希望としては駐在所の裏にヘリコプター基地を設け、いろんな意味で利用できればと思っておりましたが、場所が狭いといわれたので、病院の近くに用地をも設けるとか、海岸にいつでも船の発着出来るような所を考えるなど想定しています

事務局（峰下）

交通規制につきましては県の国民保護計画には掲載してありますが、県の警察と県の同じ機関ということで、警察と協議をしていただき、交通規制とかそれに準じた交通規制ができない場合は、自衛隊とかヘリコプターをお願いする。

井原委員

交通規制は県がやるのですか。

事務局（峰下）

はい。県の保護計画の中に交通規制ということで掲げてあるので、町としては、県と連絡を取りあい警察に県の方から交通規制関係をお願いするという計画を立てています。

元村委員

交通規制に関しては説明の通りです。輸送体制については、県のほうで指定地方公共機関としてトラック協会、バス・タクシー協会さんに指定地方公共機関になっていただき、県からその機関をお願いして輸送します。

それでも足りない場合は、いろんなところをお願いするというスタイルで計画しています。

会長

武力行為やテロなどについての対応は考えていませんが、災害の時は、地元の建設業者の方に自ら協力という形で、災害箇所、道路等々はできるものは早目に対応してもらいたいとかねがね要請しております。

事務局（峰下）

災害等については、今、会長の方から言われたように地元業者さんの組織図は、建設課、土地改良課は持っていますのでそれを活用し、その分に国民保護法の分も参入できないか検討していきたいと思えます。

会長

又、いったん非常時には消防団から各地域に指示があり、各詰所には、体の不自由な人がおられる箇所などを図面に書いてもらって、いつでも連絡取れるような対策をしてくださいと。もうすでにやられてるところがほとんどですが、消防団長さん達にはお願いしております。

金子委員へお願いというか希望といいますが、平成3年の台風の時に有明海で20名ほどの方がなくなりました。

大浦港湾は、平成8年からずっと港湾の整備をしていただいております。

国は前の町長に、有明海に港とは言わず、駐車場は要らないといわれていました。しかし、有明海のタイラギがダメになり、潜水業の人達が港湾工事に全国へ散らばり行動しています。神戸の災害時には、全国にいた護岸工事の人達がいち早く神戸に集まり応援をしたという事実があります。ところが工事が無い時に帰ってくると、係留する場所がいままでは漁港でした。

しかし、大きな船が漁港に入りますと漁船とトラブルがありましたが、元々漁業組合員同士なのでお互いが相認め合い大きなトラブルにはならなかった。

港湾工事をしている時に県にお願いしたのですが、大浦港湾にホバークラフト基地を作ってくださいとお願いをしましたが、県の方には耳を貸してもらえませんでした。国の方にもお願いしましたが、これといった対策ができていないということでした。

例えば、船の事故、渦に不時着したとか想定すると、小型のホバークラフトは作って欲しいという願いは、まだ、脳裏を消え去っていないので何とかできないかと・・・

又、災害によっては、船による避難ができることがあるのではないかという思いもあります。機会があれば考えていただければと思います。

金子委員

はい。わかりました。

会長

(1)については皆さん全解していただいたでしょうか。何かありましたら提言していただきたいと思います。(1)についてはこれでいいですか。

(質疑・異議なし)

県への事前協議について

会長

続きまして(2)県への事前協議についてを議題とします。

事務局(岡)

計画案についてはご承認いただきありがとうございました。

一部内容等が若干間違っておりましたが、それを修正した段階で県への計画を事前協議ということで提出したいと思います。事前協議が済んだら協議会の方へ協議内容が戻ってきて、それを又、皆様にご報告し、最終的な答申を受けるということになるかと思えます。

1月31日までに県への正式協議を行わないといけないのでそれまでには事前協議等も終了させて皆様方にご承認いただくようなスケジュールになっております。

前回皆様方にスケジュール案で報告しておりましたが、その時は佐賀県との協議を12月中旬としておりましたが、それが若干ずれ込みまして1月の中旬と。

第3回の国民保護協議会を、町長への答申となりますが、12月下旬としておりましたが1月の中旬にしたいと思っております。

それから、佐賀県との正式協議につきましては、1月の中旬としておりましたが、最終的な期限が1月31日となっていますので、1月の下旬までには佐賀県との正式協議をし、太良町議会には3月議会で報告というのは変わっていませんが、若干スケジュール等が遅くなり、皆様方にはご迷惑をおかけしますが、以上のスケジュールで今後進めていきたいと思っております。

3番目のスケジュールに被ってしまったところもありますが、事前協議をして結果が出た段階で皆様方に諮りたいと思っています。

会長

(2)については、今申し上げたとおりですが、これについて何かございませんか。

(質疑・異議なし)

ありがとうございます。それでは引き続き(3)の今後のスケジュールについて

事務局(岡)

先ほど申しましたとおり、県への正式競技が1月31日となっていますので、それまでに事前協議を済ませ、その前に皆様方に答申を出していただきまして町長にやると。そして、正式協議については、1月末までに県へ出すということにしています。今の県のスケジュールでは、1月末から2月16日までが正式な協議期間となっていますので、それで進めていきたいと思っています。最終的には、3月に議会に報告するということにしたいと思っていますので、よろしく願います。

会長

(3)については、説明したとおりですが、これでご理解いただけるでしょうか。

(質疑・異議なし)

ありがとうございました。これで提案した(1)から(3)まではご審議いただいたと思います。

トータルの皆さん方から何かなければ閉会といたしたいと思いますが、なにか全般的に無いですか。

(質疑・意見なし)

それでは閉会させたいと思います。

(4) 閉 会

事務局(岡)

本日はありがとうございました。

皆様方からいただいたご意見を参考にしながら、また、一部修正するところがありますので、修正した段階で県の方へ事前協議したいと思っております。

また、何かお気づきの点がございましたら私たちの方までご一報いただければ、内容等の修正をかけ正式にしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。